

国立公園等における大型獣との共生推進費

50百万円（22百万円）

自然環境局国立公園課

1. 事業の概要

国立公園等の風致景観・自然生態系や鳥獣の生息環境に悪影響を及ぼしている大型ほ乳類（ニホンジカ）について、個体数等データの収集、対策の枠組み構築、保護管理計画の作成及び被害対策の実施等により保護管理の強化を図り、国立公園の風致景観の維持及び自然生態系の保全に資することを目的として既に対策を実施している知床、尾瀬及び大台ヶ原について対策強化を図ると共に、南アルプス等これまで対策が講じられていない地域について緊急に対策を講ずる。

2. 事業計画

- 1年次 学識者、関係者による検討会の設置（現況把握・評価、管理方針検討及び緊急対策の検討）、既存データ収集整理・データ収集
 - 2年次 検討会による保護管理計画の検討（管理方策検討等）・策定及び合意形成、データ収集並びに緊急対策（試験捕獲、希少植物の食害防止柵設置等）の実施
 - 3年次 対策（個体数調整・防護柵設置等）の本格実施及び検討会による対策・効果の検証
 - 4年次 対策の実施及び検討会による対策・効果の検証
 - 5年次 対策の実施及び検討会による対策・効果の総合評価
- 計画は、標準的なもので、各地域により異なる。

3. 施策の効果

植物群落等の保護対象を大型ほ乳類による被食から防護するための施設設置や大型ほ乳類の捕獲を行って個体数を調整することにより、植物群落の消失や森林植生の変化を抑制する。

4. 備考

自然環境保全調査費 49,734千円

（内訳）

知床地域エゾシカとの共生推進事業	13,594千円
尾瀬地域ニホンジカとの共生推進事業	12,689千円
大台ヶ原地域生態系保全対策事業	9,770千円
南アルプス地域高山植物等被害対策事業	13,681千円

国立公園等における大型獣との共生推進費

ニホンジカの
個体数増加



ニホンジカの
分布拡大



森林の消失



湿原植生被害



お花畑の消失

etc.

国立公園等の自然景観の
変化や自然生態系への悪影響

放 置

国立公園等の資質の低下

種の絶滅

景観資
源の消失

森林の
更新阻害

対策の実施

- ・保護関係計画の策定
- ・植生防護柵の設置
- ・個体数調整
- ・科学的データの収集 等

自然景観の維持
自然生態系への悪影響回避